

平成28年7月1日

作業療法士各位

一社) 沖縄県作業療法士会
高次脳機能障がい研究会
代表 渡辺健一

第2回 高次脳機能障がい研修会 北部勉強会について (ご案内)

拝啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、高次脳機能障がい研修会 北部勉強会を企画しましたのでご案内申し上げます。

高次脳機能障がいは比較的、作業療法士(以下 OT)が関わることの多い疾患です。けれども医療関係者間でも「見えない障がい」と言われ、混乱を来しやすい疾患ともいえます。なぜなら入院時よりも退院後の生活場面で障がいが露見することが少なくないためです。さらに経過も長期に及ぶため医療～福祉・行政等のシームレスな連携が不可欠とならざるを得ません。

そこで、まずは医学的基礎知識の確認や検査方法～解釈から、県内外社会資源等の情報共有を図りたいと考えています。将来的には県内各地域の高次脳機能障がいに対する OT 全体のスキルアップを構想しています。

つきましては業務ご多忙の折とは存じますが是非、御参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成28年7月27日(水) 午後19時～20時30分

会 場：琉球リハビリテーション学院

内 容：①当研究会の目的/方向性

②高次脳機能の基礎知識、注意障がい

琉球リハビリテーション学院 渡辺健一

参加費：100円(資料代)

締 切：平成28年7月27日(水) 15:00

※参加をご希望される方はメールにてお申し込み下さい。

送信先：リハビリテーション 作業療法部門
作業療法士 各位



高次脳機能障がい研修会のご案内

高次脳機能障がいの方の作業療法に関わる際には様々な知識・対応が求められます。そこで今回は基礎知識確認と注意障がいに関する内容を予定しています。今後、読影や将来の社会復帰を見据えた県内外の社会資源情報、リハビリメニュー紹介など対応全般のスキルアップを構想しています。

この障がい別名「見えない障がい」と言われる所以は生活場面で障がいが見え隠れすることが少なくないことが挙げられます。しかも環境によって大きく左右されます。言い換えれば周囲の関わり方を整えることが出来れば、障壁を低くすることも不可能ではありません。そのためにも知見を重ねて見識を深めることが最善であることは自明の理です。

今回、高次脳機能障がいの方をどのように支援していけば良い方向へ導く事が出来るのか、皆で考えていきたい、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<<<< 開催要項 >>>>

日時：平成28年7月27日（水）19:00～20:30（受付 18:30～）

場所：琉球リハビリテーション学院

内容：講義、実技

①「高次脳機能障がいの基礎 注意障がい」

②当研究会の目的と今後のスケジュール

対象：高次脳機能障がいに関心のある作業療法士（県士会員限定）

参加費：100円（資料代）

申込方法：メール 下記アドレスにて申し込み下さい

件名「高次脳機能障がい研修会参加希望」①氏名、②所属、③連絡先を記入の上、

アドレス watanabe-k@ryukyu.ac.jp

申込メール受信後、確認メールを返信致します。

申込期限：平成28年7月27日（水）15:00

<問い合わせ先>

〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町金武 4348-2

琉球リハビリテーション学院 作業療法士 渡辺健一

※ お問い合わせはメール対応のみとさせていただきます